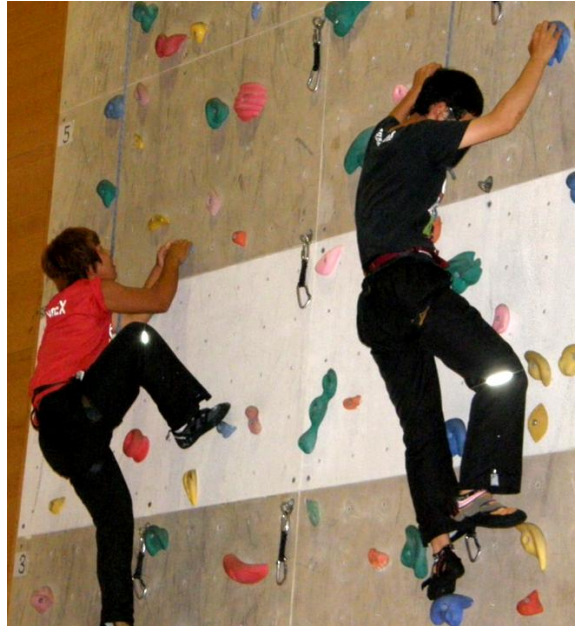


深川道立青年の家にて宿泊研修実施！

短大・看護学校の見学、そして各種体験に勤しみました

今回の宿泊研修は、「全ての体験を自分の力に」というテーマのもと、全校生徒4名で深川にある北海道立青年の家を拠点に2泊3日の日程で研修を行ってきました。1日目は、拓殖大学北海道短期大学と深川市立高等専門学院のオープンキャンパスへの参加、青年の家でのスポーツクライミング体験をしました。スポーツクライミングでは、高さ10mくらいのところまで登るとい、なかなか経験できない高さまで登りました。生徒たちはやってみると面白い！ということで、少ない生徒でも3回、多い生徒は6回登るほどのめり込んでいました。2日目は、拓殖大学北海道短期大学の黎明祭を見学し、天高祭に活かせるものがないかとみんなで研究しながら大学祭を楽しみました。その後、MOMO工房にてアイスクリーム作り体験とバター作り体験をしました。どのプログラムも体験したことのないものばかりで、充実した宿泊研修となりました。



今年もやってきたウニ缶製造実習

天売産のウニの美味しさがぎゅっと詰まった一品

海が凧ぎウニ漁の合図である青旗が揚がった7月5日、水産実習第3弾としてウニ缶詰作りを実施しました。材料はこの日に天売で水揚げされた天然のキタムラサキウニ(ノナ)です。実習は生徒・教職員、お手伝いの方々と総出で作業を行います。

まず、動いている生きたままのウニを2つに割っていきます。細長く平らなウニ用スプーンを用いて身を取り出した後、身崩れを防ぐために食塩水に浸し袋に入れた氷を入れ冷却しておきます。この時に、身崩れ防止のためのミョウバン等は一切使っていません。食塩水に浸した身を水切りした後、100gずつに量り、缶に詰めていきます。これを加熱殺菌し、缶の水滴を拭いて一日がかりの実習は終了です。今後、ラベルを貼って完成品となります。初のウニ缶作りとなった1年生からは、「あんなにたくさん剥いたのは初めてだった。」、「次第に上手く剥けるようになってきた。」などの感想が出ていました。

原材料の供給・調整にご協力いただきました羽幌町をはじめ、北るもい漁業協同組合天売支所の皆様に感謝申し上げます。製造されたウニ缶詰は天高祭(9月の学校祭)にて島民の皆様にお披露目する予定です。



学校開放講座

デジカメ写真ステップアップ

7月7日(土)、学校開放講座「デジカメ写真ステップアップ」を実施しました。今回は一眼レフ初心者向けの内容でした。レンズの換え方をはじめ、広角と望遠の画角の違いや、レンズごとの明るさの違い、またシャッタースピードや絞りを自己設定する方法について学んだあと、校外で撮影を行いました。



いざ、支部大会へ！

生活体験発表大会校内選考会



7月11日(水)、生活体験発表大会校内選考会がおこなわれました。

生活体験発表大会は、全国の定時制・通信制に通う高校生が、日々の学校生活や仕事に取り組む中で体験したことを元に、自分自身の生き方・在り方について考察したことを作文にし、スピーチ発表する大会です。9月に行われる空知地区大会への出場を目標に、全校生徒が作文に取り組みました。

選考会当日は4名とも堂々とスピーチし、すばらしい発表となりました。

校内選考の結果、今年度は三浦良太君、三浦美咲さんの2名が代表生徒として地区大会に出場することになりました。地区大会での上位入賞、そして全道大会への出場が期待されます。

【発表者：タイトル】

三浦美咲：覚悟を決めて

網野美咲：最初のステップ

野上謙伍：期待に応えたい

三浦良太：僕は漁師だ

地区大会は空知支部に出場します。空知支部大会は9月25日(火)に実施予定です。



数学の楽しさを天売島にも

サイエンスナビゲーター桜井進氏来島

7月11日(水)、天売高校体育館にて、数学講演会を実施しました。講師には島外よりサイエンスナビゲーター桜井進先生をお招きすることができました。今回の題名は「ジョン・ネイピア対数誕生生物語」。高校の数学で学ぶ対数がなぜ必要になったのか、誕生にまつわる逸話を音声・映像などを交えながらわかりやすく紹介していただきました。生徒で漁師の三浦良太君は「船乗りが必要だった数学の知識があることをわかりやすく教えてもらった」と感想を述べました。



夏休み前最後の生徒会行事

球技大会を実施しました

7月20日(金)の4・5校時を使い、球技大会を行いました。競技はミニバレーボールとバスケットボールの2種目で、どちらも白熱した試合が展開されました。ミニバレーボールでは絶妙なアタック、高さのあるブロック、華麗なサーブ、盛り上がる珍プレーが続出。結果はセットカウント3-1でAチームの勝利。引き継ぎ行われたバスケットボールでは、女子2名の活躍もありBチームが勝ち、合計得点もひっくり返しBチームが優勝しました。また、残りの時間を使って生徒・担任チーム対教員チームで試合を行いました。怪我もなく無事に終了し、冬の球技大会がより楽しみになりました。



韓国からようこそ天売島へ

韓国素明女子高校離島研修交流

7月21日(土)、韓国の素明(ソンミョン)女子高等学校より生徒8名が天売島に来島しました。素明女子高等学校は、羽幌高校と交換留学を行っており、今年はその交流の一環として天売高校の生徒も交流を行いました。

水産共同作業所にて水産実習の授業の説明をした後、体育館にてミニバレーやドッジボールを実施。また、ウトウウォッチングのバスにも同乗。生徒たちのたくさんのウトウに感動する様子が見られました。

